

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
呼吸器センター長 兼呼吸器外科部長	大森 謙一
医 長	山中 秀樹

—概要—

当科は呼吸器外科学会専門医制度による認定修練施設である。対象疾患は肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍など、胸部の腫瘍性病変の他、気胸、膿胸や胸膜炎である。2019年4月から山中医師が加わり、呼吸器外科は2名体制となった。

—実績—

【外来診療】

外来診療日は月、水、木であった。2019年度(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の外来診療実績は、外来延べ患者数は1,467名、初来患者数は105名、紹介患者数は76名、逆紹介患者数は87名であった。

【入院診療】

入院病床の定数は8階海側病棟3床であった。2019年度の入院診療実績は、入院患者数はのべ1,758名、平均在院日数は12.2日であった。肺腫瘍内科、呼吸器内科との定期カンファレンスを33回行い、気管支鏡検査にも積極的に協力した。

【手術実績】

中央手術室での呼吸器外科の割り当ての手術枠は、ラダー研修日を除く火曜日の1日枠であった。2019年4月から2020年3月末までの手術件数は83件であった。疾患別の手術件数の内訳は表1に示した。

手術器材の更新として局麻胸腔鏡機材を新規購入した。

【その他、肺癌に対する薬物療法、胸腔ドレナージ等】

外来での薬物療法は、イレッサ1例、タグリッソ1例、キイトルーダ3例に開始した。開始時入院を要する抗がん剤治療は2例に導入した。うち1例は放射線化学療法であった。

手術症例以外で、胸腔ドレナージ管理を行った入院症例(共観含む)は気胸14例、がん性胸膜炎7例、膿胸7例で、うち13例に胸膜癒着術を施行した。また、間質性肺炎合併気胸、1症例に対して病理解剖をさせていただいた。

表1 疾患別の手術件数(2019年4月1日～2020年3月31日)

疾 患	件 数
肺癌	26
転移性肺腫瘍	7
縦隔腫瘍	6
炎症性肺疾患	7
膿胸	4
嚢胞性肺疾患(含 気胸)	23
胸部外傷	0
その他の呼吸器手術	10
全手術件数	83
胸腔鏡下または併用手術	57
手術死亡	0

—今年度の成果と反省点—

呼吸器外科手術症例に加えて、各科の胸腔ドレナージ管理を要する症例に対応した。

—来年度への抱負—

関係各科と協力を深め、呼吸器疾患の外科治療だけでなく診断領域においても積極的に対応していく。